

2023年(令和5年)

第58号

(10月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～心も体も傷つける「怒り」～ 中央支部会計 堀井寛乃

今月は、中央支部の堀井がお役を頂きました。

近頃、会長先生はご法話で精神が身体に与える影響について教えて下さっています。心を毒する煩惱の正体は「瞋恚」。自分の思いに反したり、人からバカにされたとの思いから怒ったり、人を恨んだりしてしまいます…。ただ怒りにも奮起したり原動力につながるきっかけにもなりうるようで、怒りの感情を消そうとするのではなく、いかにコントロール出来るかが大事と教えて下さっています。そのための行動としてまず、「ひと呼吸おく」という抑制法を真言は教えて下さっていました。

私も幼少期から通っていたお寺で意味も分からず「おん…」と唱えていたあの頃を思い出し、知らず知らずのうちではありますが、6秒の所作が身に付いていることを願うばかりです。そして穏やかに生きる知恵として、「損して得をとる」怒りに冒されない心の備えを教えて下さっています。

そして私は「負けるが勝ち」というのも智慧の一つとあっていて、とりつくろってごまかしても仏さまはすべてお見通しで、そういう本当の自分を自覚出来ればプライドへのとらわれから解放され、自他を傷つけず争うことのない平和な日々を送れると思うのです。

中央支部では夜間ご命日と法華経を学ぶ求道塾をオンラインでして下さっています。おかげで夜間ご命日では朔日参りで教えて頂いたことを再度研鑽し合い、かみしめ合うことが出来、求道塾では何度か聞いているはずの法華経も初めて聞くかのように(笑)、その時、その時で受け取り方も変化することを実感し、新鮮な学びを頂いております。

我が家では今年から娘が東京へ就職するのを機に毎月ご供養を頂いております。不思議とご供養を頂くにあたっての準備も慌てることなく、余裕を持って安心して、その日を迎えられることに、仏さまに見守られていることを実感出来る日々を送らせて頂いております。

先日、私は心を乱す現象を頂きました。本来なら怒りや憎しみの気持ちで心がいっぱいになるところを、自分でも不思議なほど冷静に落ち着いた心で最善の判断ができ長引かず、今このタイミングで手立て出来たのも仏さまからのお手配を頂けたのかなと思います。これからも、自他とともに穏やかに生きる智慧を身につけられるよう精進していきたいと思っております。みなさま、ありがとうございました。

あなたのお仕事を教えて下さい ～乙訓支部 支部壮年副部長 小林孝至さん～

Q：仕事先はどちらですか。

A：株式会社 穴吹コミュニティ(マンション管理業) 勤務先は「グローバル洛西口」というマンションです。

Q：どのような仕事内容ですか。

A：勤務先マンションの清掃、巡回、点検です。

Q：なぜ今のお仕事に就かれましたか。

A：3年前に和室材料の会社が廃業になり、職種の違うマンションの仕事に就きました。慣れないので不安と緊張の最中に諸事情で管理会社が変わると聞かされ、移動か退職の選択を迫られ、今の職場は私の最高の条件でしたので悩みました。結局半年の経験があるので現在の管理会社に再就職して無事に継続して仕事させて貰っています。

Q：仕事中心に心掛けていることがあれば教えて下さい。

A：毎回の清掃、巡回、点検業務を主とし、入退去や出入業者の日程のチェック等、細かい作業が多くあります。居住者が苦情を言ってこられた時は速やかに担当営業員に連絡して、少しでも早く解決してもらえるように心掛けています。

親しくお話しできる方もあり、清掃中に「有り難うございます」と言って頂く住人さんも徐々に増えています。「この仕事を選んで良かった」と感謝の気持ちで一杯になります。

一人で従事していますので、挨拶を基本に居住者の方々とコミュニケーションをとり、安心して暮らしてもらえるように気を配り、仕事に精進させて頂きます。

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/>